

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		小学校特別支援学級運営				所管	教育委員会 学務課		
事務事業の概要	行政計画	あり	事業NO.	196	計画事業名	特別支援教育の推進			
	長期総合計画体系	[基本目標] Ⅲ-2. 次の世代の育成					事業の開始・終了年度 [事業開始] 昭和 2 5 年度 [終了予定] - 年度		
		[小 柱] (2)子どもが、自らたくましく生きられる教育の推進							
		[施策] ①個性を生かす学校教育の充実 [68]							
	根拠法令等	法令(義務)		[法令等名]	学校教育法				
	事業対象	区立小学校特別支援学級							
	事業目的	小学校特別支援学級の円滑な運営を図る。							
	事業内容	特別支援学級の適正な学級編制を行い、学級運営に必要な消耗品・備品等を整備し、適切な教育環境の整備をする。							
委託の有無	なし		委託内容						
補助金の有無	なし								
事務事業の実績	種 別	指標の名称 (単位)		目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度		
	活動指標	特別支援学級	学級	21	17	17	19		
		成果指標	特別支援学級在籍児童数	人	187	151	153	162	
	決算額 (単位：千円)				4,413	3,694	3,982		
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト (人件費など)			2,700	3,332	2,983		
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)			4,413	3,673	3,982		
		その他のコスト (扶助費・補助費など)			0	22	0		
		総経費			7,113	7,027	6,965		
	財源項目 (単位：千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)			0	0	0		
		その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)			0	0	0		
		一般財源 (区負担額)			7,113	7,027	6,965		
前年度から改善した事項		平成小学校情緒障害等通級指導学級を1学級増級して、通級希望児童の増加に対応した。							
評価の視点		評価	評価の理由						
	必要性	4	特別な支援を必要とする児童には、個々にあった適切な教育的支援が重要であり、特に情緒障害等通級指導学級への入級希望者は年々増加している。						
	効率性	3	小学校情緒障害等通級指導学級を1学級増級するにあたり、必要最少限の備品・消耗品等の環境整備をした。						
	手段の適切性	3	法令等の定めにより、行政が主体となる必要がある。						
	目的達成度	3	情緒障害等通級指導学級を1学級増級し、特別な支援の必要な児童に個々にあった適切な教育的支援を行った。						
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		
情緒障害等通級指導学級への通級希望者が著しく増加傾向にあり、現在の情緒障害等通級指導学級のある2校の定員及び設備では対応が難しくなることから、新たな通級学級の設置が必要と考えられる。						拡大			